

福井市少年自然の家

所在地	福井市脇三ヶ町 6 6 - 2 - 1 0
所管課等	青少年課

1 指定管理者の概要

名称	ナイガイ・越前健康開発グループ	代表者	下中 拓哉
所在地	福井市光陽 3 丁目 3 番 7 号		

2 指定管理期間

令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 3 1 日

3 施設の利用等の状況

	(R2年度) 導入前年度 2	第1期目 R3年度	参考 令和元年度
利用者数 (人)	3,508	5,406	11,816
前年度比 (人)		1,898	
前年度比 (±%)		54.1	
利用料金 (千円)	278	407	1,020
前年度比 (千円)		129	
前年度比 (±%)		46.4	
宿泊室 稼働率 1(%)	13.6	7.6	12.0
研修室 稼働率 1(%)	14.5	3.1	11.7
体育館 稼働率 1(%)	16.4	18.0	12.4
趣味の家 稼働率 1(%)	24.6	11.0	22.4
別館研修室 稼働率 1(%)	0.2	5.5	0.1

1 稼働率 = 貸し出しコマ数 / 貸し出し可能コマ数

2 令和 2 年 4 ~ 6 月は、新型コロナウイルス感染症一時療養施設として県へ貸出

4 納付金・指定管理料の状況

	令和 3 年度 導入 1 年目	令和 4 年度 導入 2 年目	令和 5 年度 導入 3 年目	令和 6 年度 導入 4 年目	令和 7 年度 導入 5 年目
指定管理料	53,790,000				
納付金					

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
利用者数 12,000人/年	利用者数 5,406人（達成率45.1%）
研修事業の企画及び開催 10回/年	研修事業の企画及び開催 10回（達成率100%）

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

項目	内容	対応
要望	洗濯機の設置	コイン式洗濯機を玄関前に設置した。
苦情	アレルギー児童への対応（メニュー表と異なるものを提供）	給食業務委託業者に、メニュー表（原材料）と異なるものを提供しないことを強く要請した。
ケガ	キャンドルづくり中の怪我（蝋が児童の足、目に付着）	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに冷水で冷やす処置を行うとともに、学校長に事故の概要を報告した。 ・キャンドルづくりの作業台が転倒しないよう、作業台の改良を行った。 ・児童への指示の伝達など指導方法について見直しを行った。
苦情	職員の対応（予約が入っておらず、態度も不適切）	利用団体に再度謝罪し、当該職員への指導を徹底した。
苦情	お風呂の不備（お湯が抜けていた）	利用団体に謝罪し、全職員にお湯はり後の確認を徹底するよう指示した。
苦情	清掃の不備（ほこり、髪の毛が落ちていた）	利用団体に謝罪し、清掃業者の指導及び職員の日常清掃の徹底を図った。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実施状況
利用者の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・本館1階男子トイレの和式便器の洋式化を行った。 ・浴場にシャンプー・ボディソープを設置した。 ・利用者用の冷蔵庫を2台増台した。 ・キャッシュレス決済（PayPay）を導入した。 ・無料貸出物品に、冷風機、消毒液を追加した。 ・「施設利用の手引き」を作成し、施設を利用する際のルール等をわかりやすくした。 ・「活動手引き集」を作成し、自然の家で提供しているクラフト等のメニュー内容を詳しく示した。
少年自然の家の情報発信・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルを行い、施設利用や予約方法について、情報の記載やレイアウトを変更し、見やすい内容とした。 ・Instagram、フェイスブック、ツイッターを開設し、イベントの周知や施設の近況等の情報発信を行った。 ・新たなパンフレットを作成し、自然の家のPR及び周知を図った。 ・主催事業の内容を紹介する広報誌「わくわく通信」を発刊し、ホームページでの発信を行った。

新規プログラムの追加	レクリエーションなどの新規活動プログラムを追加した。
職員向け研修の実施と資格取得の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設職員としての心構えや仕事の仕方に関する研修、リスクマネジメント研修、おもてなし研修などを実施し、職員の資質向上を図った。 ・日本キャンプ協会が発行するキャンプインストラクター資格を取得した。(職員1名)
地元地域(東郷・一乗)との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・東郷地区と連携し、自然の家40周年記念式典及びイベントを開催した。 ・東郷地区からの要請を受け、東郷地区で開催された越美北線利用促進イベントに自然の家ブースを出店した。 ・事務所窓口横に、一乗・東郷地区のパンフレットを配架し、地域の情報発信を行った。
新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底	利用団体の健康状況の報告、施設内のアルコール消毒に加え、非接触型検温器の増設、手指アルコール自動噴霧器の玄関への設置を行った。
自主事業の企画・運営	自主事業として、売店等の設置やイベントの企画・運営を行った。

8 施設、設備の維持管理の状況

項目	実施状況及び確認方法
組織・人員配置体制	事前に提出された事業計画書に沿った人員配置となっているかを確認したところ、事業計画書に記載の人員より1名少なかった。コロナ禍により利用者数が少なく、1名少ない人員でも対応可能であった。今後、利用者数の増加により業務量が増えた際には、人員の補充を検討するよう指導した。
収支状況・経理関係処理	収支報告書により適正に管理されていることを確認した。
清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> ・日常清掃業務等について、専門業者に委託しており、業務の内容が委託契約書どおりとなっていることを確認した。 ・施設の清掃、敷地内の除草、道路の清掃、各倉庫の整理等を指定管理者が適切に行っていることを確認した。
保守点検、運転、監視業務	施設設備等の保守点検及び運転管理について、各専門業者に委託しており、業務の内容が委託契約書どおりとなっていることを確認した。
保安警備業務	機械警備業務の内容が、委託契約書どおりとなっていることを確認した。
小規模修繕	基本協定書及び仕様書に定めた範囲で適正に実施されていることを確認した。

9 指定管理者のコメント

コロナ禍が続く中であったが、小学校の宿泊学習も下半期予定の日程変更もなく、すべて実施することができた。また、実施に際しては、安全を最優先として取り組み、事故があった際にも迅速に対応することができた。

学校以外の宿泊団体の利用は少なく、予約があってもキャンセルとなった団体も多くあった。しかしながら、体育施設の利用制限などの影響で、日帰りの施設のみの利用（特に体育館）が増加した。

利用人数は、達成目標の 12,000 人を達成できず、5,406 人（達成率 45%）であった。5,406 人は、令和2年度の3,508人と比較すると54.1%増加しているが、令和元年度の11,816人と比較すると54.2%減少している。コロナ禍の影響が残っているが、徐々に回復しつつある。一方、利用団体数は、日帰りの施設のみの利用団体が増加したため、延べ 226 団体となり、令和元年度と比較して約 1.5 倍の増加となった。次年度、目標としている年間利用者 12,250 人の達成のため、子ども会やスポーツ少年団への積極的な利用呼びかけを行っていく。また、福井市内の小中学校へのアンケートを実施し、その結果をもとに改善することにより学校利用の増加を図っていく予定である。

所旗の新調や新しい施設パンフレットの作成、また、新たなプログラムの追加など、自然の家のコンセプトを元にした施設のブランディングを行い、利用者が変化を感じられる取組を進めることができた。

利用いただいた団体の約 8 割は、利用に満足いただいているが、職員の確認不足等により、4 件の苦情を受けた。その団体には、謝罪すると共に職員の確認の徹底を図った。

2~3 月で職員のコロナ感染が発生し、臨時休所や施設内消毒を行う事態となった。また、臨時休所までには至らないまでも、再度の職員のコロナ感染が発生するなど、コロナ感染の予防の徹底や職員のコロナ感染防止の意識づくりが不十分であった。また、コロナ禍が続いていくことが予想されるため、職員へのコロナ感染防止や予防の徹底を図っていく。

大きな事故や施設の不備もなく、自然の家の運営、また、研修事業を実施することができた。日々の施設管理をこまめに行うとともに、受入時の安全管理の徹底を継続して図っていききたい。

10 所管所属の所見

令和3年度の利用者数は、5,406 人となっており、要求基準である 12,000 人を下回っている。新型コロナウイルス感染症の発生前の水準には回復していないものの、徐々に増加傾向にある。長引くコロナ禍においても、指定管理者である「ナイガイ・越前健康開発グループ」は、トイレの洋式化などの施設整備や洗濯機・売店の設置などの自主事業を実施し、利用者のサービス向上を図った。また、指定管理制度導入前にはなかったレクリエーションなどの新たな活動プログラムを作成し、利用者の満足度向上に努めている。

少年自然の家の情報発信については、新たにインスタグラム、フェイスブック、ツイッターのアカウントを開設し、主催事業の広報活動や、日常業務の中で起こった出来事、施設の改善点などを発信している。各 SNS アカウントのフォロワー数も徐々に増えているため、今後も SNS を活用した情報発信に努め、利用者の増加に繋げてもらいたい。

今後の新型コロナウイルスの感染状況等については見通せない状況にあるが、引き続き、感染防止対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる施設運営に努めてもらいたい。

11 指定管理者、施設所管所属の評価

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		
(1) 管理運営					
(ア) 維持管理業務	保守管理 ・清掃、法令点検の確実な実施	5	5	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	6月14日日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	5	5	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	6月14日日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	5	5	・現地調査で台帳と照合等	6月14日日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ) 運営業務	利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か	4	4	・業務日報等の確認等	6月14日日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	受付・承認・利用料金の收受と管理 ・一連の事務の適正な実施	5	5	・関係書類や現地調査により確認等	6月14日日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ) 報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	5	5	・関係書類の確認等	6月14日日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2) サービスの内容					
(ア) 利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	4	5	・関係書類の確認等	SNS等を活用し、積極的に情報発信を図っている。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	4	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	地元地域と連携し、事業を実施している。
(イ) サービス向上の取組み	利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	3	4	・関係書類の確認等	利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映させている。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	4	4	・事業報告書の確認等	自主事業を積極的に実施し、利用者のサービス向上に努めている。
(ウ) 要求基準の達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	2	3	・事業報告書の確認等	利用者数の目標が未達成である。(新型コロナウイルスの影響)
(エ) 応募時の提案事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	3	4	・事業報告書の確認等	実施済みの事項と未実施の事項がある。
(3) 安定性					
(ア) 管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	5	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	適正な配置状況となっている。
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	5	5	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	遵守されている。
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	3	4	・関係書類の確認等	職員の資質向上に寄与する研修を実施している。
(イ) 法令等の遵守 個人情報の管理状況	・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	4	4	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	マニュアルが整備されており、適正に管理されている。
(ウ) 安全・衛生対策	・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	3	3	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	安全・衛生対策マニュアルが整備されているが、従業員のケガ等の事案があった。
(エ) 危機管理対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	4	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	マニュアルは整備されている。
(4) 収支状況					
(ア) 経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	5	5	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	適正に処理されている。
(イ) 経費縮減の取組状況	・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	4	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	経費縮減に取り組んでいる。
合計		82	90		
割合(合計/100点満点)		82%	90%		